

凛々しさを置き土産に

岩日タイムズ

発行者

岩瀬 日本大学
高等学校
新聞部

山井彩菜
後藤多瑛
高野裕崇
井坂創一郎
深澤圭吾
田崎駿介
杉山侑暉

二〇一名の新たな門出 〜平成二十七年卒業式〜

三月二日、厳かな
秀囲気の中で平成二
十七年度第十四回卒
業式が行われました。

涙、笑顔、様々な表
情が会場に溢れてい
ましたが、新たな門
出への期待と、本校



でのたくさんの思い出を胸に、卒業生の先輩たちの姿はどれも凛々しく頼もしいものでした。本校で過ごした三年間が卒業生にとってどれほど有意義で充実した時間であったかを物語っているかのように話した。これから進むべき道においても、高校生活で学んだことを生かして活躍してくれることと思えます。式での答辞は、前生徒会長の渡部裕気さんが、涙ながらに先生



「このクラスで良かった！」日総三年二組の卒業生はその思いをスライドに乗

高校生活最後のホームルーム

せて担任の柴佳絵先生に贈りました。

最後のホームルームでは、卒業生の幼少期の写真と成長した現在の姿をリンクさせたスライドが上映され、一人ひとりが保護者に感謝の気持ちを伝えました。

「今日はお別れではなくて始まりだよ。お互いに成長していこう」柴先生はこう締めくくりました。

編集後記

卒業した先輩たちの姿は私たちの目標でもあり憧れでした。明るく挨拶をしたり、部活でもたくさんアドバイスを頂いたり先輩たちの思い出はたくさんあります。そうした思い出と先輩たちの勇姿を胸に刻み、残された高校生活を過ごし、岩日を背負っていきける存在になりたいです。(後藤)



▲ 担任の乗添先生と抱き合う卒業生（3組）